

2020 年度事業計画

1. 法人運営について

これまで、シェアハウスを拠点として、その他の住まいや生活相談も受けてきたが、2020 年 4 月 24 日に居住支援法人としての指定を受けたため、今後スタッフの拡充などさらなる相談体制の充実を図りたい。

イベントは 2019 年年末から年明けにかけ、参加者数の増加がみられ地域の活動拠点としての定着が見られつつあったが、新型コロナウイルスの影響で閉じざるを得ない状況にある。ひとりぐらしの高齢者や障害者から再開の要望もあり、感染対策を講じながらの居場所開設について長期的な課題ととらえ、取り組んでいく。また、参加者の増加に比べて現場を担うスタッフの育成が課題である。ボランティアスタッフのすそ野を広げる取り組みを検討するとともに、核となるスタッフの有給化を実施する。

2020 年度中に、視覚障害のある人が映画を楽しむための音声ガイドづくりを体験し、担い手を育成するためのセミナーを実施することを目的とした助成金を獲得した。(WAM 助成)
新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらセミナーを実現させる。

ウイズタイムハウス大泉学園内の就労継続支援 B 型事業所ウイズタイム(一般社団法人アライブ)との連携で、利用者、入居者が主体となった庭づくりワークショップも進める。

また、2020 年度は継続的な組織運営のために支援者を増加させるため、ファンドレイジングのコンサルティング支援を受けて体制を整える。

2. 共同住宅の賃貸管理・生活支援・相談事業について

入居者は現在、6 世帯 7 名で推移している。

入居者への支援については、日常生活の支援(夕食の補助、見守り、相談)を行なう。併設するウイズタイムとの交流を深める。

3. 地域住民に対する生活支援・相談事業

居住支援法人としての基盤整備を行う。居住支援法人の周知、啓発活動を実施するとともに他の先駆的な取

り組みを学び、体制整備を行う。また、担い手の育成を進める。

4. 飲食店営業

新型コロナウイルスの状況を踏まえつつ、可能な限り実施する。

5. 菓子製造業

新型コロナウイルスの状況を踏まえつつ、可能な限り実施する。

6. 食品等販売業

新型コロナウイルスの状況を踏まえつつ、イベントにおける梅干しや東日本大震災被災地域の名産等の委託販売を実施する。

7. コンサート・上映会・講演会など啓発イベントの企画・運営

オンラインイベントの実施。

新型コロナウイルスの状況を踏まえつつ、定期イベントの開催をする。